

令和3(2021)年10月9・10日
北海道で**全国育樹祭**が開催!

うわーっすごいところで育樹祭って何～?

リン子ちゃん

北海道の森林づくりシンボルキャラクター 芽森(めもりー)

育樹祭を知るために、まずは**全国植樹祭**について。

全国植樹祭は、昭和25(1950)年から国民の森林に対する愛着を培うために毎年開催されている行事だよ。

天皇皇太后陛下によるお手植え、全国各地からのたくさんの参加者による記念植樹が行われるんだ。

北海道では、昭和36(1961)年に、第12回全国植樹祭が開催。

おじいちゃんの時代に植えた木だ！

ここから！

ここまで60年!!

さらに、平成19(2007)年には、第58回全国植樹祭が開催されたことを受け、

令和3(2021)年10月9・10日、北海道で全国育樹祭が開催なんだね!!

ほくはこの大会で生まれたんだよ

そして、**全国育樹祭**は、

継続して森を守り、育てることの大切さを普及啓発するために、昭和52(1977)年から毎年開催されているよ。

全国植樹祭でお手植えされた樹木を、皇族殿下がお手入れしたり、参加者が育樹活動を行ったりするんだ。

北海道は**木育**発祥の地

平成17(2005)年3月に、北海道で、「木育」という言葉が生まれたよ!

へえーっでも木育って何～?

「木育」とは、子供の頃から木を使うことかな...

さらに、平成22(2010)年からは、木育マスター研修も開始。

木育マスターバッジ

木育マスターは北海道が認定する木育を普及させる専門家だ。

約300名の木育マスターが活躍しているよ。

森林とふれあうことを通じて...

人と森林との関わりを、主体的に考える豊かな心を育むことだよ。

第44回 **全国育樹祭** 北海道 2021

つなごう未来へ この木 この森 この緑

そしてこの「木育」は、令和3(2021)年の全国育樹祭を北海道らしい大会にするための、大切なコンセプトなんだ。

みんなで育樹祭を盛り上げよう!!

北海道の森林

北海道の森林面積は554万ha、森林率は71%です。日本の森林の22%を占め、全国で一番の森林面積を誇ります。この広大で豊かな森林は、オジロワシやシマフクロウ、ヒグマといった貴重な野生動物が数多く生息するだけでなく私たちの生活に必要な水や酸素の供給、土壌の保全を通しての災害の防止等、人間の生活も守ってくれています。

現在、先人達が植林育てた木々が、収穫の時期を迎えています。人が育てた森林は、伐って、使って、植えるを繰り返すことで健全に維持されます。木は人が手を加えれば50~100年で再び利用できるまで成長する循環可能な資源です。私たちが正しく木を使い、また育てることが豊かな森林とその恵みを次世代に受け渡すことにつながるのです。



北海道を代表する針葉樹

アカエゾマツ マツ科トウヒ属 樹高30~40m

アイヌ語でイウォロシク(山奥のエゾマツ)

エゾマツと共に「北海道の木」に指定されています。成長がとてもゆっくりですが材はきめ細かく美しいためかつては高級楽器材として重宝されていました。近年はアロマ等新たな活用法も広がっています。



トドマツ マツ科モミ属 樹高30m

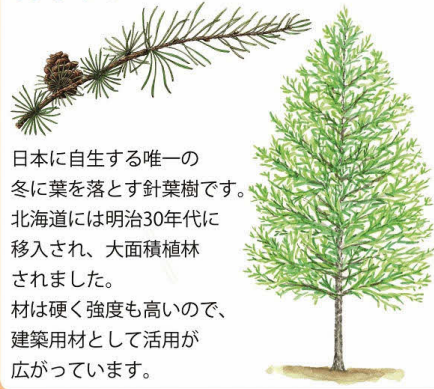
アイヌ語でフブ

北海道で木材としての量が一番多い木です。寒さに強く、少ない光でもゆっくりと成長します。材は木目がまっすぐで白く柔らかく、近年は新しい加工法で中高層建築への応用も期待されています。



カラマツ マツ科カラマツ属 樹高20~40m

日本に自生する唯一の冬に葉を落とす針葉樹です。北海道には明治30年代に移入され、大面積植林されました。材は硬く強度も高いので、建築用材として活用が広がっています。



スギ ヒノキ科スギ属 樹高40m

国内で一番樹高が高くなる木です。(50m以上)

日本固有種で、北海道では多くが道南に植林されています。材は柔らかく加工しやすいので古くから住宅や神社仏閣の建築材や、日本酒の樽に活用されるなど、日本人の生活に欠かせない木です。



ヒノキアスナロ ヒノキ科アスナロ属 樹高30m

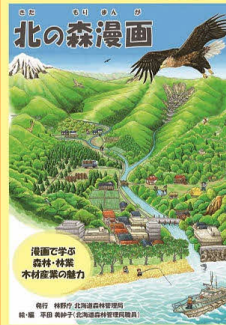
アスナロの変種で通称「ヒバ」と呼ばれます。

道南の檜山地方に多い針葉樹で、檜山の地名はヒノキアスナロに由来します。材はヒノキより香り豊かで耐久性、強度も高く建築材や帆船材として重宝されました。



森林のごともっと知りたい方に!

北の森漫画



北海道の森林・林業・木材産業を漫画で楽しく学べる1冊です。北海道森林管理局のHPにて全ページご覧いただけます。



健全な森林づくりに収益を選ん

建築物や木製品、紙や燃料など地域を挙げて木材を活かす



北海道緑化運動のあゆみ

北海道植樹祭

昭和25(1950)年全国植樹祭と同時に北海道植樹祭がスタートしたよ。

第1回目は、藻岩山(札幌)にトドマツ300本を植林。

第19回北海道百年記念植樹祭では、約2万本を植林!

平成29(2017)年からは、「北海道・木育フェスタ」の一環として森林づくりや木づかいを同時に体験できるイベントとなり、続けられているよ。



お魚殖やす植樹運動

昭和63(1988)年に「漁のかあさん(北海道漁協婦人部連絡協議会・現女性連)」が中心となってスタートした植樹活動だよ。「100年かけて 100年前の自然の浜を蘇らせよう!!」のスローガンの下、令和2(2020)年までに約12万本の植樹を行ってきたんだ。

